

品川駅から北品川宿の寺社を巡って 水辺のまち天王洲へ

品川駅の港南口を出ると高層ビルが林立する超近代的なエリア。ビルの谷間の公園を抜けて、東海道を目指そう。この街道筋は下町情緒たっぷりの商店街でお休み処を兼ねた駄菓子屋などもある。第一京浜国道を渡って品川神社へ。境内には一粒万倍の泉のある阿那稲荷社や本殿裏手の板垣退助の墓所など見どころが多い。沢庵和尚の寺・東海寺から少し歩いて利田神社へ。ここは江戸時代に漁師がとらえた鯨を供養した鯨塚もある。北品川橋付近からは舟宿が連なり、水辺に屋形舟が浮かぶ。余裕のある方は少し足をのばしておしゃれな天王洲アイルへ！
(所要時間 4.3km 約2時間)

品川駅 港南口高層ビル群

- ・2003年10月東海道新幹線「品川駅」が開業し、東京の新しい玄関口として注目されている。
- ・品川駅東口は再開発でめざましく変貌し、品川グランドコスモنز・品川セントラルガーデン・品川インターシティーが立ち並び近代都市品川に生まれ変わっている。品川駅構内には大宮に次いで開業した駅中ショップEcute Shinagawa (エキュート品川)、atre (アトレ) 品川がある。

旧東海道 お休み処 駄菓子屋「またあした」 住所：東京都品川区北品川2-2-10 (旧東海道沿い、品海公園前)

新宿お休み処は平成7年度にオープンして以来、まちの情報センターの役割を持つ無料休憩所(無人)として利用されてきたが、この休憩スペースに新たに駄菓子屋スペースを設けリニューアル・オープンした。地元の子どもたちが楽しく交流する場となり、旧東海道の散策などで、まちを訪れる観光客が下町らしい風情と買い物を楽しむことが出来る。

品川神社 住所：北品川3-7-15

文治3年(1187年)、源頼朝が海上交通安全と、祈願成就の守護神として、安房国の須崎明神である、天比理乃咩命(あめのひりのめのみこと)の来臨を請うたものといわれている。寛永14年(1637年)3代将軍徳川家光が東海寺を建立する際、同寺が寺の鬼門にあたることから東海寺の鎮守となった。明治になって品川神社となっている。6月の大祭は「北の天王祭」と呼ばれ53の階段を「天下一嘗」の神面を付けた神輿が上り下りする。境内には宝物殿や神楽殿、板垣退助の墓や富士塚(擬似富士登山が出来る)がある。東海七福神の大黒天に指定されている。東京都の「新東京百景」に指定されている。

・天下一嘗の神面(てんかひとなめ)

慶長5年(1600)、天下取りを目指した徳川家康が、関ヶ原へ出陣する際、天下一嘗の神面をつくり品川神社で戦勝祈願、神前で太々神楽を奉納、戦勝後、家康は神面を寄進した。また、神輿は三代将軍家光より寄進されたもの。

・板垣退助の墓

もと東海寺の塔頭(たっちゅう)寺院であった高源院の墓地の一角にたてられていたもので、関東大震災ののち高源院が世田谷に移転したため品川神社の裏手に残されたような形でひっそりと眠っている。

東海寺 住所：北品川3-11-9

江戸時代の初め、寛永15年(1683)に、三代将軍徳川家光が、名僧沢庵のために建てた寺。江戸時代きっての名刹で、157000平方メートル余りの広大な社寺を有していた。

- ・たくわえ漬け=たくあんが考案された地でもある。「たくあん」は、家光の命名との説もある。

聖蹟公園 住所：北品川2-7-21

- ・品川宿は日本橋を出て初めての宿であり、東海道の親宿として栄えていた。
- ・宿内にはこの外に脇本陣2軒があった。本陣とは勅使・大名・外国使節などが泊る旅館で、明治3年(1870)に宿駅制度が廃止されるまで存続した。当本陣は明治元年天皇が東幸の際、行在所となったことから、昭和13年聖蹟公園になった。

利田神社・鯨塚 住所：東品川1-7-17

- ・嘉永3年(1626)に沢庵和尚が弁財天を祀った、洲崎弁天が起り。利田はこの辺りを開発した利田新田を開いた利兵衛の姓。
- ・境内の鯨塚は、1798年に品川沖に迷い込んだ一頭の大鯨とその事件のてんまつを伝えるもの。

品川浦 屋形舟 舟宿群 住所：東品川1-7-1

かつて品川浦は豊富な水揚げを誇り、海苔の主要な産地でもあった。現在ではつり船や屋形船が舳先(へさき)を並べ、釣り人や納涼に繰り出す人々にぎわっている。たくさんの屋形舟と釣船がもやい、その間を水鳥が泳ぎ回る光景は、都会ではもはや得難いもの。品川区内でも最大の観光スポットのひとつ。早朝、夕暮れ時など、独特の風情があり、撮影や写生、吟行にもおすすめ。

知っ得 耳寄り情報!

天王洲アイル

注目の水辺スポット、天王洲アイルは、ホテルや劇場の他、雑貨店や飲食店などのショップが集まった海辺のおしゃれスポット。水辺にそってボードウォーク(散歩道)も整備され、テレビドラマや雑誌の撮影にもたびたび使われる抜群のロケーション。夕日を見ながらくつろぐのもお勧め。天王洲オリジナルの地ビールを楽しめるレストランT.Yハーバーブルワリーも人気だ。対岸のクリスタルヨットクラブでは東京湾をめぐりながらフランス料理をいただくディナークルーズ豪華客船が発着している。ここでは、恋人たちも、家族連れも日常を忘れ、優雅な時を過ごすことが出来る。